

SHLスクリーンが東北大学の産学官連携の事例として経済産業省HPに掲載されました。



産学官共同研究におけるマッチング促進のために作成されている「大学ファクトブック」に東北大学の実用化事例として「SHLスクリーン」が掲載されました。

大学ファクトブックは、各大学の産業界との連携実績などのデータを「見える化」したもので、経済産業省および文部科学省で調査が行われ、経済産業省ホームページで公開されています。

大学ファクトブックURL

https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/daigaku_factbook.html

東北大学掲載資料

超高輝度・可搬性・省電力性を備えた超短焦点プロジェクタースクリーン「SHLスクリーン」							
本件連絡先							
機関名	東北大学	部署名	産学連携部産学連携課	TEL	022-795-5283	E-mail	sanren@grp.tohoku.ac.jp
概要			図・写真・データ				
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>昨今、電子デバイスなどでの省電力化が求められていますが、どのような時代でも会議やエンターテインメントなどの分野で需要があるプロジェクターの分野においても同様です。そのような省電力化が求められる中、基本的な性能として、ユーザの視認性に影響のある高輝度や高コントラストについても、更なる性能の向上が求められています。</p> <p>・成果</p> <p>株式会社有電社様は、超高輝度・映り込み小、省電力、ベゼルレス、可搬性、安価な超短焦点プロジェクター用のスクリーン「SHLスクリーン」の販売を開始しました。</p> <p>このSHLスクリーンは、従来のスクリーンと比較し、同プロジェクターを用いて、約4倍の明るさを実現しており、周囲が明るい環境でも見やすく、光を効率よく反射させることで省電力にも貢献します。更に、スクリーンは丸めて梱包できるので輸送が容易で、スクリーン裏面をマグネット加工しているため、金属製の壁に設置することができます。</p> <p>SHLスクリーンは、デジタルサイネージ、パブリックビューイング、イベントなどでのモニター、仮設などでの災害時の情報掲示用のモニター、Web会議 などの幅広いシーンでの利用が可能です。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>株式会社有電社様は、東北大学未来科学技術共同研究センターで開発された技術を活用し、密接な連携を行うことで実用化まで至りました。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>株式会社有電社様は、従来より短焦点プロジェクターでの輝度や省エネに関する課題を認識しており、親交のあった東北大学の本技術が有効であると考え、研究開発を行いました。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>・実用化までの研究開発ノウハウ</p> <p>・知的財産に関する権利</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>SHLスクリーンは、超短焦点プロジェクター用のスクリーンであり、薄い特殊なレンズを用い、最適な構造・設計を行うことにより、超高輝度・映り込み小、省電力、ベゼルレス、可搬性、安価を実現しました。</p>			   <p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p>https://www.yuden-net.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2020/10/f98426c025f14369a5c4ea55052e52ff.pdf</p>				